

重点取組分野	元 年度		総括	重点取組分野	2 年度		総括	重点取組分野	3 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果	
豊かな心	①ここにこ班を軸とした集会を充実させ、行事にたてわり活動を取り入れ異学年の繋がりを築く。 ②地域とふれあう活動を大切に、教科や総合などで「人」との繋がりを生かす学習展開をする。 ③挨拶の価値を考える機会を大切に、積極的な挨拶の実践を図る。	①なかよしウォークで班ごとにめあてを立てることで、他学年の仲が深まった。 ②稲作活動でお世話になっている人との繋がりを深めた。 ③日常の指導や道徳の学習で学んでいるが、挨拶の習慣は十分に身につけていない。	B	豊かな心	①ここにこ班活動では、年間計画を見直し、なかよしウォークと集会の連動をより図る ②出会ったまの「人」リストの見直しをして全職員でよさを共有する。 ③挨拶の価値を考える機会を大切に、積極的な挨拶の実践を図る。			豊かな心	c1		
生きてはたらく知	①「みんなが笑顔 夢中になって」を具現化する体育科の授業研究会と実技研修で教師の共通理解を図り、他教科に広げる。 ②道徳科や総合的な学習の時間などの研修を計画的に行ったり、市研・A研・B研の情報を積極的に校内に伝えたりして、教員集団の授業力向上を図る。	①主に管理職が講師を務めることにより、9回の授業研究会と実技研修を行った。単元構想図や毎時のめあてやふり返りの定着は、他教科でも同様に行えるよう推進中である。 ②講師を招いて、道徳科や総合の研修を行い、市や区の研究会情報は随時共有した。	B	生きてはたらく知	①体育科の授業研究会と実技研修で「自主性」「対話的」に研究の視点をおき、学校教育目標に結び付け研究として深めていく。 ②重点研を通して培った学びが、他教科や様々な活動に広がり活用されるようにPDCAサイクルで進めていく。			生きてはたらく知	c2		
健やかな体	①校内研修による、体育科・保健体育科の授業改善を図る。 ②体力テストの結果をもとにした、体力向上1校1実践運動の改善を図る。 ③体力テストの結果を保護者と共有し、家庭や地域と連携して体力向上、生活習慣の改善を図る。	①毎月実技研修を行うことで職員の授業力向上に努めた。引き続き行っていく。 ②体力テストの結果を踏まえ、持久走の取組「大地走ろう会」の企画、運営を行った。 ③体育読本を活用し、体力テストの結果を保護者と共有し、一層体力向上を図っていく。	B	健やかな体	①校内に向けて実技研修等を行ったり、区研での学びを校内に広めたりすることで体育科の授業改善を図る。 ②体力テストの結果を踏まえ、子どもたち一人ひとりの体力向上につながる機会を設定し、実施する。(マラソン大会やドッジビー集会等)			健やかな体	c3		
児童指導	①規範意識の向上を図る(朝会を活用し生活目標の徹底・マナー&ルールブックの定期的な確認と年間を通した指導) ②健全育成に向け、豊かな成長を支援する(日常的な児童の情報収集・担任学年の指導や支援をベース・必要に応じて児童支援専任との連携)	①年間を通して、教職員全体が揃える部分は揃えた指導を行った。指導されたことが子どもたちにより定着しているよう今後も指導を継続していく必要がある。 ②情報共有が素早く細やかに行われる場面が増え、即座の対応・指導に結びついてきた。	B	児童指導	①学校のきまりやマナーを全職員で共有して指導にあたる。 ②児童支援専任が担任と連携し、児童の健全育成に向けた指導にあたる。 ③職員会議や学年会で児童指導について共通理解する場を設け、日々の指導に生かす。			児童指導	c4		
特別支援教育	①校内特別支援委員会において、児童の情報を共有し、適切な指導・支援の検討を行う。 ②学校カウンセラーや専門相談機関と連携し、誰もが安心する学校生活・教育活動になるように、登校アプローチプラン・個別の指導計画・個別の教育支援計画をもとに適切な指導・支援を行う。	①校内特別支援委員会において、全体で児童の情報を共有し、ブロックごとに具体的な指導・支援の方法を検討した。 ②ケース会議を行い、児童への対応を相談した。学校カウンセラーやSSW、専門相談機関と連携し、適切な指導・支援を行った。	B	特別支援教育	①校内特別支援委員会において、児童の情報を共有し、適切な指導・支援の検討を行う。 ②学校カウンセラーや専門相談機関と連携し、誰もが安心する学校生活・教育活動になるように、登校アプローチプラン・個別の指導計画・個別の教育支援計画をもとに適切な指導・支援を行う。			特別支援教育	c5		
#REF!	#REF!			#REF!	b6			#REF!	c6		
#REF!	#REF!			#REF!	b7			#REF!	c7		
学校運営協議会 地域連携	①新学校教育目標や中期学校経営方針を共有し、連携をとって行事や活動を推進する。 ②現在行っている連携事業の内容と方法を見直し、より教育効果のあるものを一緒に考え実践する。(稲作活動・防災総合訓練・ジュニアボランティア・大縄大会・工作教室・ゴミ拾い・祭りと運動会)	①学校教育目標のキーワード「笑顔」「夢中」を朝会や行事、学年・学級目標にリンクするように意識して年間の学校運営を行った。 ②主に土・日に実施される従来の地域との連携に加えて、生活科・社会科などで新たな連携をつくり児童にとって地域を身近にした。	A	学校運営協議会 地域連携	①新学校教育目標や中期学校経営方針を共有し、連携をとって行事や活動を推進する。 ②教育水田の活動を中心に、地域・保護者と協力関係を深め、よりよい関係を築いていく。 ③スポーツと学習のフェスティバルの催し方を工夫して地域・保護者の学校への理解を得る。			学校運営協議会 地域連携	c8		
いじめへの 対応	①Y-P等を活用してよりよい集団づくりを行う。横浜プログラムを活用し、誰もが参加・活躍出来る授業づくりに努め、職員研修を計画的に行う。 ②児童の情報の共有化を図り、いじめを見逃さない体制づくりに努める。必要に応じていじめ防止対策委員会を開催し組織的な対応を行う。	①職員研修を行った結果、Y-Pと横浜プログラムの活用を行う場面が増えてきた。 ②専任を中心に、いじめは許されない風土づくりが学校全体でできてきた。未然防止のためにも児童の情報共有を今後も密に行っていく。	B	いじめへの 対応	①多様な視点で児童の状況を把握できるよう、学年や学年ブロック単位で指導・支援にあたる。 ②児童の思いや変化にいち早く気付くことができるように担任との面談やアンケート調査を定期的に行う。 ③必要に応じていじめ防止対策委員会を開催し、いじめの防止・対応を組織的に行う。			いじめへの 対応	c9		
人材育成・ 組織運営 (働き方改 革)	①学校運営の活性化とキャリアステージに応じた育成を目指し、教務ミドルメンター会のさらなる充実を図る。(月1回以上の開催 相互の連携・協力や交流・研修) ②業務の効率化を図り、教職員の共通理解と同意のもと実践する。(業者委託 全体のバランスを考えた行事や会議精選 職員室の環境改善)	①年3回の交流会をミドルが催し、職員の間滑らかな交流を図った。またメンターの授業研にミドルも積極的に関わった。 ②書写や裁縫セットなどの購入を保護者の直接振込にした。職員室を整備し打合せスペースを新たに設けた。プロジェクトでの検討は教務会を通さず会議のスリム化を図った。	B	人材育成・ 組織運営 (働き方改 革)	①学校運営の活性化とキャリアステージに応じた育成を目指し、教務ミドルメンター会のさらなる充実を図る。(月1回以上の開催 相互の連携・協力や交流・研修) ②学校経営計画を整理しながら、各組織の一人一人が見通しをもって計画的に担当の仕事を進められるようにしていく。			人材育成・ 組織運営 (働き方改 革)	c10		
ブロック内 評価後の 気付き	「子ども像」を共有したことにより、子どもの成長を同じ視点で捉えることができた。授業研では中学校ブロックのぐるぐるを各教科で分析して、目指す姿の共有を図ってから小・中両方の授業研を行い、視点を絞った意見交換をすることができた。4校の小学校を隔年で2校ずつ行うことで、ブロック4校の児童の様子も互いに見合うことが有意義であった。教務主任会では、来年度から実施するキャリアパスポートの検討を行い、ブロックで足並みをそろえて始める準備を行った。			ブロック内 評価後の 気付き				ブロック内 評価後の 気付き			
学校関係者 評価	学校教育目標の「笑顔」「夢中」については、子どもたちが快活に生き生き生活していることからよくわかる。校内では、全ての子が挨拶ができるわけではないが、登下校時に合う児童は気持ちの良い挨拶ができるようになってきている。子どもたちの合唱が目立って上手になってきたと思う。新しい校舎に向けて保護者も地域も協力して行っていきたい。学校は子どもたちが相談しやすい環境になっていると感じる。春のスポーツフェスティバルや冬の大地を走ろう会など、子どもたちの健康的な育成を図っていることがわかる。			学校関係者 評価				学校関係者 評価			
中期取組 目標 振り返り	「笑顔あふれる万騎が原の学校・まちづくり」をテーマに掲げながら、日々の授業、学校行事、教育水田での活動など地域と連携して進み始めることができた。とくに職員・児童には「笑顔」「夢中」のキーワードが定着しており、様々な学習や活動のめあて・ふり返りとして意識する姿たくさん見られた。個や集団の中で育まれる「問題解決力」については、重点研究2年目になる体育科を中心にして、子どもの姿に現れるような学習を引き続き積み重ねていきたい。新しい校舎建設に向けて、地域や保護者と連携を図りながら計画を進めていく。			中期取組 目標 振り返り				中期取組 目標 振り返り			